

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		キッズベースシース		公表日		2026年 3月 23日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		○	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○		基準人員に加え加配職員を配置することでお子さんの特性に合わせて職員で連携しながら、複数人体制で支援に取り組んでいます	職員の急な予定変更や体調不良による欠勤があった場合にも、落ち着いて対応できるよう、ゆとりのある体制づくりを進めていきたいと考えています。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○		その日のスケジュール、1ヶ月の活動予定、タイムタイマーを用いて残り時間を提示するなどお子さんたちが「見て分かる」環境を考え、視覚支援の構造化を図っています。活動の手順は活動前の説明で手順書を用いて説明し、活動中も手順書を確認する等おこない、情報を視覚的に見て理解できるようにしています。ドアも引き戸が多く、床の段差もほとんどなくバリアフリーの設定になっています。階段はお子さんののびやすい高さになっています。	お子さんの特性に合わせて、より過ごしやすい環境を整えていけるようにしていきたいと考えています。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		○		1週間の中で清掃の日と当番を決め、掃除を行っています。お子さんの特性に合わせてものを移動したり、布をかけることで視覚情報を減らすなど対応しています。	安全面や衛生面を考慮し、古くなってきているマットは今後見直しを行い、より良い環境づくりを進めていく予定です。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○		必要に応じて個別に部屋や環境を用意したり、部屋をカーテン等で区切り少人数の中で過ごせるように配慮しています。	長期休暇中は部屋を分けて使用し、内容も工夫しながら対応しています。お子さん一人ひとりが落ち着ける室内空間を今後も工夫し、安心できる居場所づくりを考えていきたいと思っています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		○		毎日のミーティングで活動の確認と振り返りをおこなっています。また定期的に職員から意見を吸い上げ支援の質向上や、業務改善に取り組んでいます。日々の打ち合わせやストラテジーシートを用いています。	より円滑な運営を目指し、業務内容や役割分担の見直しを進めていきたいと考えています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○		評価の結果を基に業務改善に努めています。また、送迎時や公式LINEを通じたコミュニケーションのなかで意向等を聞き取り、業務改善につなげています。また、保護者ヒアリングの機会も作り、保護者の方の意向を聞く時間も設けました。	保護者アンケートや懇談などを通じて、ごために保護者の方々の意向を把握する機会を設けていきたいと思っています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○		毎日のミーティングや打ち合わせを通じて、定期的に職員から意見を吸い上げ支援の質向上や、業務改善に取り組んでいます。	一人ひとりに安定したサポートを行うため、個別面談の機会を定期的に設ける体制づくりを進めていきたいと思っています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			○	法人内で毎月実施している企画会議において、他事業所の管理者と意見交換を行ったり、助言ももらったりするなかで、業務改善に取り入れている。大学教授からアドバイスを頂いたり研修を実施して頂いています。	第三者評価の自己評価に取り組むなど、外部評価受審の準備を進めていきたいと思っています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		○		参加可能な研修等に参加するようにしています。また、発達障がいアドバイザーとして関わっていただいている大学の先生による勉強会も定期的実施しています。また、公認心理士の大学の先生や理学療法士の方にもアドバイスをいただいています。	職場内研修は継続して実施しており、今後はさらに視野を広げるため、外部研修への参加機会も積極的に確保していきたいと考えています。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○		視覚的に理解しやすいように、イラストや色分けを駆使して、ホームページにて公表しています。	内容は今後も話し合いをして修正しながら、個々のお子さんに対応できるものにしていきたいと思っています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		○		全員で個別支援会議を行い、お子さんの様子について意見を出し合っています。日々の支援や保護者の方、相談支援員等の情報なども含めてニーズや課題を分析し計画作成をおこなっています。	個々のお子さんのニーズを検討したうえで今後もお子さんや保護者に寄り添った支援計画を作成していきたいと思っています。

適切な支援の提供	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個別支援課作成において「個別支援計画会議」を実施し共通理解をはかり、支援の際にも活かすことができるように心がけています	日々の支援の中でも、定期的に計画を振り返ることで、共通理解を深めさらにお子さんへの支援の改善をおこなっていききたいと思ひます
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		お子さん1人ひとりの日々の記録用紙内に個別支援計画の内容を記載し、確認しながら対応できるようにしています。	これから職員間で共通理解して支援ができるよう伝え方、話し合いの方法を工夫していききたいと思ひます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		保護者の方や相談員の方から頂いた情報と日々の活動などから状況を把握し、標準化されたツールを用いたアセスメントをするように努めています。	お子さんの状況や保護者、相談員、他事業所等の情報などからアセスメントし、またツールについても定期的に項目の見直しなどをしていききたいと思ひます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		5領域を全てのお子さんの支援内容に盛り込んで計画を作成しています。家族支援、移行支援等はご家族の意向や年齢などに合わせて設定しています。	今後も研修や話し合い等を重ねながらよりよい個別支援計画を作成していけるようにしたいと思ひます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員全員で話し合いをおこない、活動プログラムを決定しています。	職員間の連携をしっかりとおこない、よりよいプログラムの立案を行っていききたいと思ひます
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		ハロウィンやクリスマス等の季節行事では毎年内容を変えたりと工夫しています。プログラミングや季節の行事、スヌーズレン、その他、グループ事業所のシーズ今津（就労支援事業所）の見学や体験等も取り入れています。理学療法士の先生にも定期的に来ていただき、体を動かす活動を実施しています。	1週間同じプログラムが続く中でも、お子さんにより充実した時間を過ごしていただけるよう、できるだけ日替わりで楽しめるような内容も検討していききたいと思ひます。これまでも工夫を重ねてきましたが、さらに新しい活動も積極的に取り入れ、より魅力あるプログラムづくりを目指していききたいと思ひます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個々のニーズに合わせて個別活動と集団活動を組み合わせ作成しています。	引き続き個々のニーズと集団におけるニーズを踏まえた計画の作成と支援に努めていききたいと思ひます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援前にはミーティングを行い、支援の留意点や役割分担等の確認をしています。	長期休暇中は送迎対応等で時間が限られますが、その中でも効率的に情報共有や打ち合わせが行える方法を工夫していききたいと思ひます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		送迎や勤務時間の都合により当日の振り返りが難しい場合でも、翌日の打ち合わせで前日の出来事や気づきを共有し、支援の充実につなげています。	勤務時間の違いや送迎を考慮して、できるだけ効率的にかつ迅速な情報共有をこころがけていききたいと思ひます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎日、その日利用のお子さんの記録をきちんととっています。記録用紙内に個別支援計画の内容を記載し、計画に沿った支援が実施できているか職員それぞれが確認できるようにしています。	支援記録をもとに情報共有や次回の支援内容に活かしていますが、今後も療育の状況の把握の仕方など、支援の検証・改善の方法を工夫していききたいと思ひます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを実施し、児童の状況や保護者のご意向を踏まえて計画の見直しや作成をおこなっています	半年に1回ではなくこまめに職員間で見直しをおこなっていく等、工夫を考えていききたいと思ひます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		体を動かす遊び、制作活動、パソコン活動、療育ゲームやSST、トークン、長期休暇中のクッキングや外出活動等を実施し、日常生活の充実や自立支援、様々な体験ができる活動を実施しています。また、活動の中でルールを自分たちで考える機会やお楽しみ会等で司会等の経験をするなど、お子さんが主体的に取り組める内容も考えています。	長期休暇の外出活動等で事業所外での経験の場を設けていますが、地域の人との交流は少ない状況です。地域の人との交流ができる活動も考えていききたいと思ひます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		登園後すぐの自由時間（すっきりタイム：学校からキッズスペースに登園し気持ちを切り替えていく時間）でおやつ、宿題、自由に遊ぶ等の順番を自分で決めて取り組めるようにしています。パソコン活動ではめりえとタイピングの中から自分が挑戦したいほうを選んでもらい、自分で決めて取り組めたという達成感も味わってもらえるようにしています。	年齢に応じて、選択の場面を増やしていくような工夫を考えていけたらと思ひます。
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		会議がある場合は、普段からお子さんの様子を把握している児童発達支援管理責任者が参画します。また事前に職員からお子さんの様子を聞いたうえで参画します。	今まで以上に密に連携し、情報共有を行っていききたいと思ひます。	

関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		年度初めや利用開始時等に学校等各関係機関に電話を入れたり、パンフレット等を渡し、いつでも連携が始められるようにしています	・情報共有の場を設けていき、学校や事業所等の関係機関ともしっかりとした連携をとれるように働きかけていきたいと思っています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		年度初めや利用開始時等に電話を入れたり、定期的にパンフレット等を渡し、いつでも連携が始められるようにしています	学校へのお迎え時にその日の引継ぎは行っていますが、できていない学校もあるため情報共有の工夫を考えていきたいと思っています
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		就学前の情報については大半は現在保護者から情報収集している状況ですが、児童発達支援事業所との引継ぎもお願いし、共有できるように努めています。	保育園や関係事業所との連携を深め、情報共有薄しやすい関係を気づいていきたいと思っています
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			保護者の要望も伺いながら、積極的に情報を共有していきたいと思っています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○	○	助言、研修を受ける機会は少ない状況です	今後連携を深めていきたいと思っています
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	○		地域のイベント等に積極的に参加し、地域のお子様たちとの活動の機会を設けていきたいと思っています
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○	○	現在、参加はしていませんが、要請いただいた場合は積極的に参加します	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時等に様子を尋ねたり、今日の出来事を話したりするなど、お子さんの様子をお伝えする中で共通理解できるように心がけています。保護者に会えなかった場合はこうしきLINEにてその日のお子さんの様子をお伝えしています	お子さんの発達状況や課題について気軽に相談していただけるよう、保護者の方との関わりをもっと深めていきたいと思っています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者の方に療育内容をお伝えする際に、家庭でも取り組んでいただける内容があれば協力いただくようにお伝えしています。また関わり方についてアドバイスをしたり、適宜相談を受けさせていただくようにしています。外部でのペアレントトレーニングの研修も案内させてもらっています。	保護者の方をお招きし、研修の機会を設けていきたいと思っています。
	保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		事前の見学、また契約時に資料等をご覧いただきながら説明をおこなっています。また不明な点は職員が随時説明するようにしています
37		放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		契約時の面談等で意向についてお話を聞くようにしサービス等利用計画を基に作成しています。送迎時等でお子さんの活動の様子やご家庭での様子等を保護者と伝えあい、その中で意向を確認しながらすすめています。	今後もより丁寧に聴き取りをおこないながら、お子さん、保護者の意向を踏まえたよりよい計画を作成していけるようにします。
38		「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		面談をおこない、書面にて計画の説明をおこなって保護者の同意を得ています。	より丁寧な説明を心掛けていきたいと思っています。
39		家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	○	子育ての悩み等の相談に対し、送迎時などに適宜助言を行ったり、定期的な面談や要望のあった際に、適宜面談を行っています。またその際にキッズベースでおこなっている支援を口頭でお伝えしたり実際に使っているツール等を見て頂いています。今年度は外部アドバイザーの方にもご協力いただき、保護者ヒアリングの機会も設けました。	発達についての知識をより深めていき、より良い助言をおこなっていけるようにしていきたいと思っています。
40		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		保護者交流会を開催し、また、保護者交流会を実施する際どのような内容が良いかのアンケートも実施しました。	交流する機会は設けていますが不定期のため、継続して定期的に開催していきたいと思っています。
41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		契約時に苦情に関する相談窓口を案内し、適切な対応ができるように努めています。重要事項説明書に第三者窓口についても記載しています。	今後も迅速な対応に努めていきます	

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○	毎月発行しているお便りや、ホームページのブログ、Instagram、facebook等で行事予定や活動の様子を発信しています。 また、一斉配信メール、公式LINEなど連絡体制も設けています	今後もよりよい情報提供ができるよう努めていきたいと思います。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	契約時に個人情報の取り扱いに説明し「個人情報取り扱い同意書」にサインを頂いています。お便り、SNS等で写真を掲載する場合は、職員複数名で確認をおこなっています。	今後も丁寧な対応に努めていきたいと思います。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	事務連絡や案内等はできるだけ口頭だけではなく書面やLINEを用いて数回に分けて送信し、周知、理解しやすいようにしています。	今後も丁寧な対応に努めていきたいと思います。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	法人の防災教室などで地域住民や小学校との交流をおこなっています。 また、地域の行事の際に要望をいただき、定期的に駐車場を提供させていただいています。	利用しているお子さんと地域住民の方との交流の機会を考えていきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	各種マニュアルを策定し、職員間で周知しています。警報発令時や感染症対応についてのお知らせは契約時にも配布し、説明させていただいています。	定期的に再周知をおこなうようにしたいと思います。 訓練も様々なことを想定した訓練をおこなってきたいと思います。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	業務継続計画を策定しています。地震や火事、水害等を想定した訓練の他、送迎時に地震が発生した場合の避難先等も職員間で話し合いをおこなっています。 また、災害時などに使うハイゼックス炊飯も活動の中に取り入れました。	訓練の仕方も様々な場面を想定しながら実施するようにし、保護者にも周知をおこなっていきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○	契約時に必ず確認させてもらっています。服薬等で途中で変更があった場合はお知らせいただいています。	緊急時に適切に対応できるように、定期的にお子さんの既往歴や服薬についての情報共有をおこなうようにしていきます。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	食物アレルギーの有無のアンケートを保護者に実施しています。 また、クッキングや準備をしているお菓子などを食べる時には、保護者に再確認しています。	現在のところ、アレルギーのお子さんはいませんが、アレルギーのあるお子さんをあずかる際は医師の指示書も提出していただくようにします。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練などを統括管理しています。	安全計画を適切に活用するために職員間での話し合いを定期的におこなっていきます。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	契約時に警報発令時や地震発生時等の非常時の対応についてのご説明と書類を配布しています	変更点が出たら書面でお知らせし、安心して過ごしていただけるようにします。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	危険だと感じるがあった際など、ヒヤリハット案件が出た場合は、打ち合わせ等で話し合い、小さなことでもすぐに共有できるようにしています。	これまで口頭での共有が中心でしたが、今後は書類への記入もより丁寧に行い、情報共有をより確実にしていきます。また記入して終わりにするのではなく、再発防止に向けた前向きな話し合いの機会を積極的に設けていきたいと思います。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	アドバイザーとして関わっていただいている大学の教授に研修をしていただいたり、外部研修等にも参加し、適切な対応をこころがけています。	今後も研修や事業所内での話し合い等を重ね、よりよい対応をおこなっていただけるようにします。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○	現段階で身体拘束はおこなっていません。指針のほうで明記しています。	やむを得ず身体拘束を行う場合が考えられる際は計画書に記載し、お子さんや保護者に事前に十分説明し、了解を得るようにします。